

第 99 回日本医史学会総会および学術大会 (予告) 於・函館国際ホテル

会長 松木 明知

平成 10 年 5 月 16 日 (土) 8:30 ~ 受付 8:55 ~ 開会の挨拶

9:00 ~ 18:00

(18:10 ~ 20:00 懇親会)

- 1, 明治初期の啓蒙医家森鼻宗次 中山 沃
- 2, 済生学舎出身の生化学者、旧制金沢医科大学学長「須藤憲三」について 唐沢 信安
- 3, 医師・加藤時次郎と横浜 中西 淳朗
- 4, 太田正雄 (木下奎太郎) の医学ノートについて ○黒川一郎・島田保久・吉田信
- 5, 最近発見したヒポクラテス画像と賛文について 蒲原 宏
- 6, 一坪井信道賛— 川原慶賀のヒポクラテス画像 和田和代史
- 7, 小島宝素の『医心方』巻二十二の伝鈔について 町 泉寿郎
- 8, 幕末期の院内銀山の死亡者記録の分析「門屋養安日記」にみる庶民の医療 (2) 蒔 昭三
- 9, 「看護」という言葉の使用のはじめ (第 3 報) — 鎌倉時代末期の仏教史書『元亨釈書』と看護— 平尾真智子
- 10, 大村藩の古田山と長与俊達、大浦嘯山 長与 健夫
- 11, 足立長雋の祖為春先生と乗附為春海鏡 石原 力
- 12, 江戸期本草家の北陸への関心 (2) 畔田翠山の白山・立山紀行 正橋 剛二
- 13, 中国伝統医学と道教 (第 19 回) 「符」 吉元 昭治
- 14, 中日両国に於ける古代の疾病流行について (紙上发表) 邵 沛
- 15, 医療技術の視点から見た『三国志』と『三国志演義』の比較 和田 裕一
- 16, 『素問攷注』の用字例 宮川 浩也
- 17, 李東垣の瀉血療法 友部 和弘
- 18, 元代の三皇廟について 秦 玲子
- 19, 『紹興本草』の新知見 真柳 誠
- 20, 『玉機微義』における薬物の使われ方 ○原田俊介・小曾戸洋・真柳誠
- 21, 宋板傷寒論不可篇の成立について 牧角 和宏
- 22, 『全九集』の編纂者とその意図 ○遠藤次郎・中村輝子
- 23, 清医 趙淞陽について— 1726 ~ 1729 年の長崎での逸事— ○郭 秀梅・岡田研吉
- 24, 田中弥性園所蔵の善本古医籍 (明版) ○小曾戸洋・田中祐尾
- 25, 同仁会の機関誌『同仁』について 丁 蕾

シンポジウム I 「日本における医史料の蒐集と保存について—その現状と提言」 司会 寺畑喜朔

特別講演 I Edward Jenner's Activity in Science Malcolm F. Beeson

特別講演 II North American Vaccination Above the 49th Parallel

John W.R. McIntyre

平成 10 年 5 月 17 日(日) 8:30 ~ 受付 9:00 ~ 16:25 (16:25 ~ 16:30 閉会の挨拶)

- 26, ドイツの臨床神経学 Romberg から Erb まで ○高橋 昭・伊藤泰広
- 27, ベレッティーニ解剖図譜における自律神経系(第 2 報) オルリー・レジス・○本宮かをる
- 28, オランダ・ライデンの外科医ギルドの歴史 石田 純郎
- 29, リヨンにおける医学小史(2) —オテル・ディウとシャリテー 小林 晶
- 30, フランスにおける人痘法受け入れ論争 小田 泰子
- 31, ヴェサリウス解剖学の構成とその起源について 坂井 建雄
- 32, ハックスリの英文・比較骨学図譜(1864 年)について 松尾 信一
- 33, 19 世紀アメリカ医学における瀉血 藤倉 一郎
- 34, アヴィセンナ(イブン・シーナ)の「医学範典」における精神医学(第 1 回) 濱中 淑彦
- 35, ハスダイ・イブン・シャプルートとカイロ・ゲニザ 泉 彪之助
- 36, 日本の精神病学における遺伝学的研究の歴史(その 2) 岡田 靖雄
- 37, 鷗外の「甘寝の説」 高橋 正夫
- 38, 解剖用語「腓」の受容、定着の過程について 佐藤 裕
- 39, 歯牙硬組織生活力に関する概念の変遷について 西巻 明彦
- 40, 梅毒血清診断ワッセルマン反応と日本への紹介について 会田 恵
- 41, 浅田宗伯と清国駐日公使館の人たち 陳 捷
- 42, 明治 12 年から 16 年までの東京府における医術開業旧試験について 樋口 輝雄
- 43, 死体と臓器移植 杉田 暉道
- 44, 『芸備医事』の復刻事業について ○江川義雄・中川和夫
- 12:30 ~ 13:30 総会議事、昼食・休憩
- 13:30 ~ 14:25 ポスター(会長講演・45 ~ 53 席)
- 会長講演「牛種痘種痘法の鼻祖中川五郎治に関して過って伝えられていること」松木 明知
- 45, 地蔵寺過去帳による華岡青洲の系譜の新知見 松木 明知
- 46, 日本における脊椎麻酔の歴史—昭和 20 年以前の研究について ○小谷直樹・松木明知
- 47, 性病予防行政史 —戦後の激動期を中心に— ○長門谷洋治・坂上俊之
- 48, クロフォード F. サムス大佐の人と業績 ○吉見契子・鈴木明子
- 49, 松本 順と北海道—特にその来道と足取りを追って 宮下 舜一
- 50, 赤城信一について(第 3 報) ○上田智夫・小竹英夫・宮下舜一・吉田信
- 51, 徳川慶喜の奥医師の生誕地とその周辺 木村専太郎
- 52, 1910 年以前の在韓宣教医 高安 伸子
- 53, 明治 12 年沖縄県のコレラ流行—土屋寛信の『琉球紀行』から ○深瀬泰且・真柳誠
- シンポジウムⅡ「若い人たちに医学史を伝えるために」 司会 大村敏郎